

活水論文集 看護学部編 第10集の発刊に寄せて

活水女子大学看護学部長 野口 静子

2023年度も1編ではありますが、教員の教育活動における実践報告書として「活水論文集 看護学部編 第10集」を発刊することができました。

医療や社会・経済に大きな影響をもたらした新型コロナウイルス感染症は、5月に分類が2類から5類に移行しました。医療、看護教育、研究においては、まだまだ「with コロナ」への対応が求められてはいますが、徐々に以前の日常生活が復活してきました。

コロナ以前には、各看護学演習時の模擬患者として大学近隣にお住いの老人クラブの皆様のご協力を得ていましたが、コロナの流行期には感染防止のため協力を得ることができなくなりました。このような中で、2年生の基礎看護技術演習の模擬患者として、本学部4年生の協力を得て取り組んだ教育の実践報告は興味深いものがあります。看護教育において模擬患者は、看護の過程を立ち止まって振り返る「そのきっかけ」を作ってくれる教材であることから、看護実践能力の育成には欠かせない存在として教育への参加が期待されています。

本学部では、これからの学生の質の多様化にも対応して、倫理観や協調性を基盤とした医療者としての態度と看護実践能力の高い人材の育成を目指して授業改善に向け積極的に取り組んでまいります。今後とも、皆様のご指導ならびにご支援を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、日々多忙な校務の中で原稿執筆や編集にご尽力くださいました皆様に感謝申し上げます。